

# 令和2(2020)年度山口市市民活動支援センターさぼらんて事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

## I 委託契約に基づく事業報告

### 1. 山口市協働推進プランの位置づけ(抜粋)

#### (1) 目指す協働による地域づくりの姿

地域を思い、人々が集い行動する「地域経営」へ

～共に話し、共に汗をかく～

(将来にわたり安心して暮らし続けることのできる地域社会を目指す)

#### 地域経営の定義

地域全体で地域の将来ビジョンを共有し、地域の課題解決に向けて地域内外の様々な団体が参加、協議し、役割分担しながら、地域の持てる資源(人、もの、金、知恵)を有効活用して地域を動かし、持続的に地域の暮らしを支えていくこと。

#### (2) 前期推進計画

##### 基本事業2 市民活動の育成と支援の強化

##### 推進項目① 市民活動団体への支援の強化

- ・新たな基金の創設、ガバメントクラウドファンディング等を活用した新たな財政支援制度の検討
- ・NPO法人の新規設立促進、安定的運営の支援
- ・市民活動支援センターを中心に、市民活動団体の人材育成に向けた取り組みを推進

##### ② 市民活動団体と市との連携体制の構築

- ・市民活動団体と市の担当課等との円卓会議、話し合いの場づくり

##### ③ 市民活動支援センターの機能強化及び環境整備

- ・地域と市民活動団体とのマッチング
- ・地域住民が市民活動に参画するためのきっかけとなるプログラムの作成
- ・子どもや若者の社会貢献活動への参加促進プログラムの作成
- ・幅広い世代の市民が交流できる市民活動支援センターの環境整備
- ・市民活動支援センターを中心に、高校生や大学生に対して、地域や市民活動等のボランティアのマッチングを行う仕組みづくりの構築

### 【基本目標】

市民活動団体からの相談対応、伴走支援を基本に以下を重点テーマとする。

#### ○市民活動への参加のきっかけを提供

- ・大学生インターンシップによる市民活動団体のPR動画制作による情報発信。
- ・これまで実施した大学生を交えた円卓会議での意見を反映した、SNSを活用したマッチングのしくみづくり。
- ・誰にでも居場所と役割がある地域を目指して、多様な社会参加の入り口となる市民活動への参加情報の収集・発信。

#### ○市民活動と地域コミュニティのつながりづくり

協働推進課と連携し、地域コミュニティのニーズを把握した上で、市民活動団体とのマッチングの推進

やその他の地域支援への協力。

### ○市民活動団体へのマネジメント支援

- ・寄附など多様な財源確保に向けて、公共の担い手として社会的信頼の得られる事業計画づくりなどの伴走支援を行う。
- ・社会課題のテーマごとに行政との連携・協働に向けた円卓会議の実施。

#### 【With コロナ対策】

昨年度末の全国緊急事態宣言で4月13日から5月17日まで山口市の指示により休館。スタッフは、ソーシャルディスタンスを保ちながら、通常勤務（休館中も、電話や電話予約での相談対応は実施）を続けた。その中で、今後はコロナ禍を想定した支援が必要だという認識のもと、まずはZoomミーティングの研修を行い、体験し、非接触の会議や研修、講座などの支援スキルを身につけた。その後、消毒・ソーシャルディスタンス・検温など予防対策を徹底し開館。コロナ禍の対面が懸念される中でも、これまで通り市民活動支援ができるように新たなサービスを以下のとおり実施。

- ①リモートでの相談対応
- ②登録団体が行うリモート会議・講座のサポート
- ③リモート活用のマニュアル作成
- ④リモートによる講座開催
- ⑤リモート会議等に必要の貸出備品の充実  
(Wifi、タブレット、会議用マイクスピーカー、モニター、ヘッドホン、パーテーションなど)
- ⑥さぼらんでホームページ上でのボランティア情報の充実
- ⑦組織内のコミュニケーション強化ツール Kintone 導入、アプリ作成の支援

## 1 施設管理

リニューアル移転して、2年目となるが、コロナ禍で休館指示により4月～5月1か月近くの閉館となる。平常開館となっても、ソーシャルディスタンスで会議室の利用人数の制限、また新たに事務スペースの確保を行い、制約のある中貸館業務を行った。

### (1) 開館日

水曜日及び年末年始(12/29～1/3)、祝日を除いた日を基本の開館日としているが、新型コロナウイルスの拡散防止のため閉館の指示を受け4/13～5/17までを閉館とし、相談業務のみの対応(来館・電話・リモート)とした。

開館日数：246日

相談のみ対応日数：30日(コロナ禍による臨時閉館)

休館日数：71日

### (2) 開館時間

9:30～18:00

※利用団体の講座などの準備に合わせて、スタッフは9時より出勤

登録団体の時間外利用は柔軟に対応

### (3) 各種手続き書類の配置

#### ①市民活動団体向け

- |   |  |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 登録市民活動団体への提供サービスのしおり | <input type="checkbox"/> 市民活動団体登録・変更用紙 |
| <input type="checkbox"/> 会議利用報告書              | <input type="checkbox"/> ブログ反映機能申請書    |
| <input type="checkbox"/> 印刷機利用カード             | <input type="checkbox"/> 機材借用書(貸出)     |
| <input type="checkbox"/> 持込みイベント申込書・報告書       | <input type="checkbox"/> インターネット使用簿    |

□窓口業務依頼申請書

□学生ボランティア依頼書

## ②内部用

□相談カード

□機材貸出予約簿

□拠点利用予約簿

□日計表（日別集計表・累計表・月別平均表）

□職員業務日報

※今年度内部用書類は、Kintone アプリを作成し、共有する仕組みを構築

## 2 普及・啓発及び情報収集・提供

積極的に情報収集を行い、市民活動の意義、社会課題の共有というメッセージ性を大切に発信した。商店街にある拠点を活用し、入り口付近に通りから見えるようにボランティアコーナーを新たに設置。その他、団体紹介のミニポスター展示をするなど、来館される方への普及・啓発も充実させ、ホームページへの支援情報、団体情報、講座レポートなど引き続き情報集積にも力を入れた。

また、市民目線のカジュアルな情報紙「ええやん新聞」を子育て世代の社会貢献意識の啓発を目的として、市内幼稚園、保育園、小・中学校へ配布のほか、全地域への回覧とした。

講座など事業実施後はホームページ上にレポートを掲載するとともに、「円卓会議」など実施後はかわら版も作成し、事後の広報にも努めた。

### (1) 市民活動に関わる情報の収集及び整理

①山口市内の市民活動情報…団体ごとの個別ファイルを作成。

②NPO支援情報…全国の支援情報やNPO関連図書を配置。

③市外の市民活動情報…全国の支援センターやNPOの情報を配置。

④助成金情報…年間助成金一覧表を、分野別、締切日別に作成し掲示。  
年間のスケジュールや、募集中の助成金ラックを設置し、団体が助成金を探しやすい工夫をした。

⑤ボランティア情報…入口付近にコーナーを設置し、気軽にボランティア情報が得られるようにした。



### (2) 広報紙等の発行

1年間の市民活動支援の事業報告や円卓会議などのかかわら版を発行し支援内容を伝える他、山口市まちづくりアンケートにある「機会があれば市民活動をしてみたい(34.1%)」という市民活動予備軍ともいえる市民に対しての啓発紙「ええやん新聞」にも力を入れ、市民と市民活動をつなぐ発信を心がけた。編集作業には市民広報スタッフを巻き込み、社会課題の当事者意識を広げる市民目線を大切にした。今年度は、助成金アンケートを基に助成金情報の新たな発信方法（Facebook）を取り入れた。

#### ①さぼらんで事業情報

##### ○さぼらんでの令和1年度の事業報告ダイジェスト版

【対象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600部

【形態】 A4サイズ 4P 手刷り

##### ○さぼらんでの令和2年度の事業方針及び事業一覧

【対象】 登録団体・地域交流センター・関係各所

【発行部数】 600部

【形態】 A5サイズ 4P 手刷り

##### ○さぼらんでかわら版

さぼらんで事業後に内容をわかりやすくまとめたものを発行

ア. さぼカフェかわら版 ～地域でみつける自分らしい生き方、働き方～



【対象】 市民、登録団体、地域交流センター、関係各所

【発行部数】 700部

【形態】 A4サイズ 4P 手刷り

## ②助成金情報

資金難はどの団体でも大きな課題なので、年度初めに「助成金アンケート」を実施し、要望を集め、結果を踏まえてFacebookでの発信、助成金豆知識や他団体の声、資金集めの情報などをプラスして発信。

### ア. さぼらんてからのおいしい助成金情報の発行

【対象】 市民活動団体向け 隔月発行（年6回）

【発行部数】 600部

【形態】 A4サイズ 両面 手刷り

### イ. 助成金情報メルマガ

紙媒体では伝えていない情報も追加し、全ての情報の助成元にリンクを張り、毎月メール送信

【対象】メルマガ登録団体および担当者 29団体 34件

### ウ. Facebookタイムラインの活用

Facebookを利用している団体に向けて、助成金情報をシェア。

## ③ええやん新聞

市民活動予備軍ともいえる潜在市民を対象として、身近な社会課題とともに、市民活動や市民主体の取り組みを市民目線で発信し、この層の新しい価値観との出会いや気づきを刺激し、まちづくりへの参加・参画のきっかけを創出し、誰もが心豊かに暮らせる山口を目指す市民を増やすことを目的とする。

### 【編集上の工夫】

- ・リモート取材や会議の活用。
- ・Googleフォームやファイル共有の活用。
- ・モニター制度により、読者の声を次号に反映した。
- ・22号、23号とも大学生の取材や、大学生スタッフを巻き込み若い世代の目線も取り入れた。
- ・発送作業ボランティアを募集し、社会貢献の意欲の充実とさぼらんてや市民活動を知ってもらおうきっかけとした

### 【発行内容】

- ・発行回数：年2回（10月1日／2月1日）
- ・発行部数：22号…30,000部、23号…30,000部
- ・対象：市民（主に子育て世代想定）
- ・配布先：市内公立幼稚園、小・中学校、21地域交流センター、子育てひろば、山口市全地域回覧、他関係各所。

### 【特集内容・テーマ】

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の影響を受け、今だから考えなくてはならない「自分ができること」としてボランティア活動への参画を促す記事、「お互いを認め合える社会へ」として多様性への理解について発信。

#### <22号>特集：今、私にできること

- ええやんピープル：西本葉子さん（やまぐち食育くらぶ代表）
- チャートで探すボランティアと併せて市内の団体の紹介
- 大学生を対象にしたボランティア調査隊
- 思いやりマスクの行方

○レシピ、読者クイズ、編集後記

### <23号>特集：認め合える社会へ

○ええやんピープル：大下憲彰さん（株式会社 lool 代表取締役）

○みんなちがってあたりまえ（市内の団体の紹介）

○山口避難所物語

○ハンドメイドから広げたい！社会の「きっかけ」

○レシピ、読者クイズ、編集後記

#### 【成果】

市民意識の啓発、市民記者の人材育成を以下のとおり評価

#### ■読者アンケート集計

22号.23号	項 目	22号	23号
	より身近に市民活動を感じた(理解・関心が高まった)	13.9%	22.5%
	社会課題(特集内容)について考えるきっかけ、共感につながった	44.4%	42.5%
	情報提供を活用	8.3%	2.5%
	はじめの一歩につながる勇気、元気、やる気につながった	6.9%	0%
	さぼらんての周知につながった	3%	0%
	その他	22.2%	32.5%

・読者層は、ターゲットにしている 30～50 代の主婦や会社員を中心に学生やシニア層にも関心を持ってもらえている。

・クイズの応募は回覧版からが多く、地域への情報の広がりうかがえる。

・はじめの一歩につながったとの回答は低いものの、アンケートからは、「これからボランティア参加したい」、「コロナが落ち着いたら参加したい」、「自分にできることはないか考えるきっかけになった」、「退職したら自分の好きなボランティア活動に参加してみたい」、「次号も楽しみ」など前向きな意見が多数寄せられた。また、個別の記事や活動についての具体的な感想が多く、読者の興味の高さがうかがえる。

#### ④活動インフォメーション

毎月の市民活動情報の中から一般市民が馴染みやすい情報を選定し、紙媒体として発行。商店街のチラシ入れなど、広く市民の目につくところに配置。

【対 象】 市民向け 毎月発行

【発行部数】 偶数月 1050 部、奇数月 570 部

【形 態】 A4 サイズ 両面 手刷り

#### (3) ホームページ

ホームページへの来訪者が「ボランティア」ワードでの検索が一番多いことから、トップページにボランティア募集新設した。コロナ禍により、対面よりもネット検索で情報を得られるようにしたいというニーズがあると考え、ボランティア情報を始め、講座レポートやお知らせなど基本情報の蓄積をし、その情報を SNS 等で拡散するように努めた。

■アクセス数は、33,586 件（58 件/日）。実人数 24,548 人。

##### ①まちサポ広場（電子図書館）の市民活動団体利用

登録団体（319）の基本データは全て掲載。

	令和2年度	令和元年度	H30年度	H29年度	H28年度
利用団体数	319	311	311	307	297
更新団体数	47	42	52	52	64

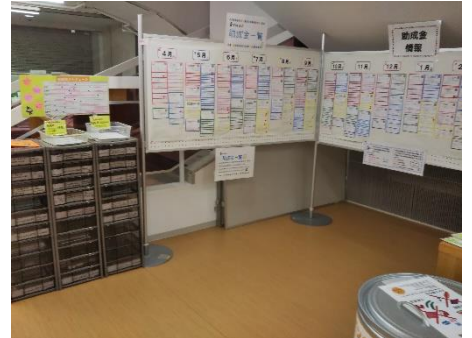
年間記事数	1,460	1,561	1,362	1,766	1,982
-------	-------	-------	-------	-------	-------

②ホームページ等での情報発信

お知らせ：17件 講座等レポート：7件 さぼろぐ（ブログ）41件 Facebook：61件

(4) 情報交流コーナーの活用（「さぼらんて」前面フロア）

- ①市民活動紹介コーナー：団体紹介ミニポスターを作成し掲示。
- ②助成金コーナー：展示場所を前面に出しPR。
- ③NPO法人情報コーナー：NPO法人格取得に向けて情報などを設置し、掲示がマンネリ化しないようにレイアウトを随時変更するとともに、市民活動等に関する情報を分野に分け、見出しやコメントをつけて掲示し啓発。



(5) マスコミ等の活用

報道機関へ広報紙の配布及び事業ごとのプレスリリースを実施。

(6) 市役所ロビーなどにおける市民活動出張展示

コロナ禍で開催が危ぶまれたが、例年どおり写真やキャッチコピーで団体の活動内容が一目でわかる「市民活動紹介ポスター」など展示し、幅広い市民に向け、市民活動情報の提供を行った。今年度は、団体のPR動画もロビーのモニターを活用して流した。



【展示内容】

- ・さぼらんてポスター
- ・さぼらんて広報紙(ええやん新聞等)
- ・登録団体活動紹介ミニポスター63団体
- ・団体パンフレット25団体
- ・発達障害啓発週間(4月2日～8日)

【展示場所】

開催日：令和2年3月24日(火)～4月16日(木)  
場 所：山口市役所ロビー

### 3 相 談

市民活動支援の基本を相談に置き、多様な相談に対応。特に運営相談は、寄り添い支援を基本に必要な場合は専門家と連携し対応していった。コロナが市民活動に与えた影響も大きく、補助金に関する相談の他、オンライン導入に関する相談等が増加した。

また、商店街に設置されていることから、市民からの活動相談等も半数以上を占め、個人の活動への相談対応や、市民活動団体との橋渡しも行った。

(1) 相談・問い合わせへの対応

市民の市民活動への参加や市民活動団体の活動充実のために対面・電話・メール、Zoomによる相談に応じ、助言を行い、内容によっては、他機関・窓口を紹介しマッチング。

- 相談件数 591件 (来所 266件、電話等 325件)
- 問い合わせ件数 78件 (来所 44件、電話等 34件)

※職員の相談カードに記載された特記事項のあるものの件数は679件(グラフ集計総数)

【対象別相談内訳】

対 象	件 数
市民	273
市民団体	244
行政	42
地域	20
企業	16
その他	84
合 計	463

相談総数は、昨年の4割増。これまで半数近くを市民からの相談が占めていたが、コロナの影響による市民生活の困りごとの深刻化、それに伴う活動展開にむけた団体からの相談の増加が見られた。行政や他中間支援センター等と、情報共有等、相談・連携がこれまで以上に図られた。

【団体からの相談内容種類別内訳】

団体分類	内容	件数	
NPO法人	運営	42	74
	活動	10	
	オンライン等	22	
任意団体	運営	85	170
	活動	36	
	オンライン等その他	0	
合 計		244	244

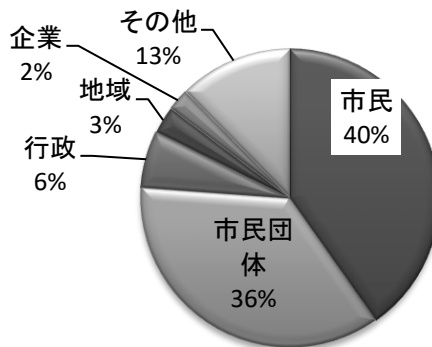
団体からの相談は昨年度の2倍超。感染対策でオンライン導入に関する相談やサポート要請の他、補助金申請等による運営面での相談が増。Kintone（情報共有システム）導入も進み、勉強会、個別サポート等で伴走支援を継続。

【市民からの相談内容内訳】

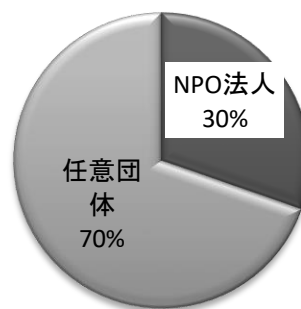
内 容	件数
個人的活動について	99
困りごとについて	95
さぼらんてについて	25
市民団体について	20
その他	33
合 計	272

市民からの相談のうち、寄付やボランティア、団体立ち上げ等の個人活動に関する相談と困りごとに関する相談が多く7割にのぼる。困りごとの中では、猫に関する相談が急増。新規団体による譲渡会再開の影響が大きい。コロナ禍における生活上の不安感を抱える市民からの相談も見られた。

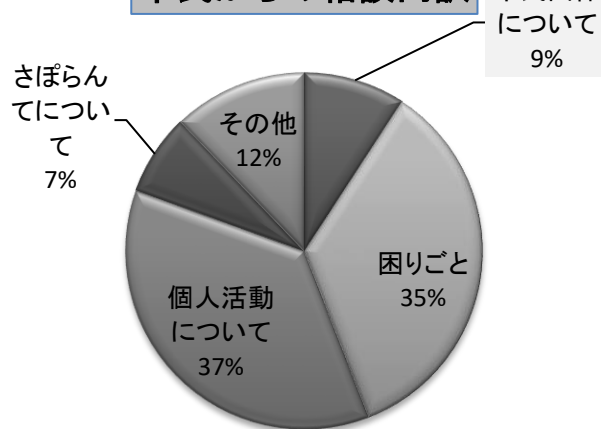
対象別相談等の件数



団体分類



市民からの相談内訳



## (2) 相談・問い合わせの内容の一覧化

### 4 人材発掘・養成

市民活動団体の永遠の課題、人材不足・資金不足を解決するための寄付集めや事務力の簡素化、などに焦点を置き講座を実施。また、ファンドレイジングやKintone 講座については、講座終了後も伴走支援を行っている。

全ての講座において、講座レポートをホームページにアップし、団体支援の情報として蓄積していった。

#### (1) 講座・セミナーの開催

##### ①活動充実講座

	講座・研修	日付	講師	参加者
1	寄付にトライ！ファンドレイジングの基礎 (Zoom 開催)	5/29 10-12	日本ファンドレイジング協会 認定ファンドレイザー 柿沼 瑞穂氏	5 団体 6 名
2	Kintone で事務作業を簡素化 (Zoom を活用し 2 拠点で開催)	8/20 10-16	(株)コミクリ 和田真純氏・福田恵子氏	7 団体 11 名
3	オンライン告知講座 (Zoom 開催)	10/12 10-11:30	NPO 法人市民プロデュース 小柳 明子氏	7 団体 8 名
4	短いフレーズで思いを伝える POP 講座 (Zoom 開催)	3/2 10-11:30	NPO 法人 NOBORDER 松本 奈津美氏	9 団体 12 名

1. 「寄付にトライ！」With コロナを意識して初めての Zoom 講座となりましたが、比較的スムーズに実施できました。参加団体のアフターフォローや参加できなかった団体へのオプション講座も行った。
2. Kintone 講座は、導入済の地域にも声をかけ Zoom を活用してさぼらんと大内地域交流センター2 か所で行いました。希望団体にはアフターフォローの講座も開催しました。アプリ作成に向けて現在も 2 団体に伴走支援した。
3. オンライン告知講座も、With コロナを前提にし Zoom で開催。SNS やインターネットを活用した拡散型の告知をより目の止まるもの、申し込みの簡素化などターゲットを絞った告知講座を開催。
4. POP 講座も Zoom 開催。寄付集めの初めの一步募金箱設置に向けて短いフレーズで共感を呼ぶ POP 講座を開催。

#### (2) 市民活動団体への運営支援

任意団体、NPO 法人含めた運営支援やこれから立ち上げる団体への支援などの寄り添い支援に力を入れた。特に理事会や講座をオンラインで行うための Zoom 支援や、団体内の事務作業を簡素化する Kintone 77 の活用に力を入れた。単発の相談については、相談報告に計上。

##### ①運営支援 20 団体 (NPO 法人 7 団体、任意団体 13 団体) へ 73 回

内容	団体数	回数
Zoom 活用支援 (導入から会議体へまで)	7 団体	16 回
活動支援 (活動実施にあたっての継続的相談)	4 団体	11 回
助成金相談 (助成金申請について)	8 団体	9 回
Kintone 活用支援 (導入からアプリ作成まで)	3 団体	9 回
団体立ち上げ	4 団体	5 回
ファンドレイジング勉強会 (理事を集めての勉強会)	2 団体	5 回



会議支援（団体内や他機関との会議等の立ち合い）	3 団体	5 回
ブログアップ等の支援	3 団体	4 回
映像づくり支援	1 団体	4 回
クラウドファンディング	1 団体	4 回
他団体等とのコーディネート	1 団体	1 回

②アワードへの推薦

「チャレンジやまぐち！地域貢献賞」などの推薦を行った。

(3) 企業×NPOのつながりづくりプロジェクト「支え人。」

7年目を迎えて、閉業した個人事業主の方があったものの、それぞれNPOと企業のつながりは深く安定し、よいパートナーとなってきている。

【2020年度実績】

寄付金総額 135,096円

5年間の寄付総額 1,521,322円

エントリーNPO法人：①認定NPO法人こどもステーション山口

②認定NPO法人支えてねネットワーク

③NPO法人あっと

協力企業：①（株）メルシー

② 木のおもちゃ専門店 リンドヴルム

③ ポーラ Sweet

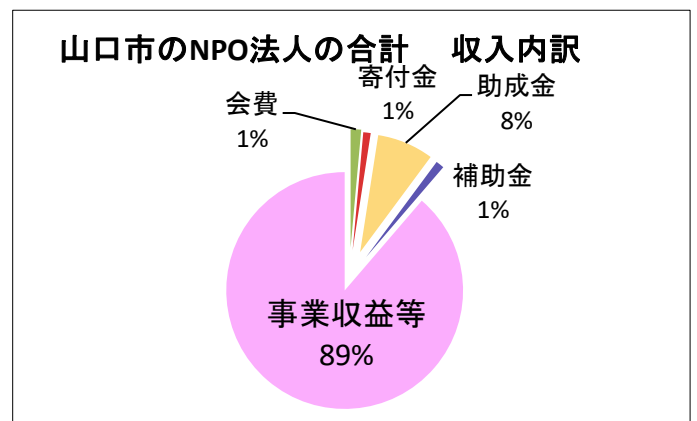
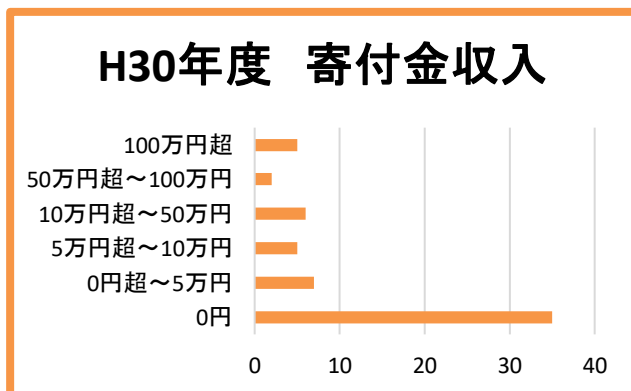
④（有）寿司やす

⑤（株）モリイケ

⑥（有）BAY TOKYO

その他の連携：NPO法人山口せわやきネットワークへの「こどもの貧困対策連携企業」提携企業3社、自動販売機設置企業4社。

【参考】山口市内のNPO法人のリアル



山口市内に主な事業所を置く NPO 法人 80 法人についての調査。平成 28 年の改正 NPO 法に基づく公告義務を果たしている NPO 法人は 8 法人に留まり、今後指導の必要性がある。

寄付金のない NPO 法人が 35 団体と半数以上を占める。年間 100 万円以上の寄付金収入のある団体は 5 法人にとどまっている。収入については、介護サービスや委託などの事業収集が 90% を占め、寄付金については 1% にとどまり、多様な財源確保には程遠い現状がある。

(4) インターンシップ推進事業

山口県インターンシップ推進協議会からの受入れ、今年度は社会人インターンシップの希望もあり

9名受入れた。

■推進協議会からの受け入れ1回目(1名、5日間)

○学 生 山口大学経済学部3年(女子)

○期 間 令和2年11月6日(木)～令和2年11月13日(金)

○受入団体 協力団体3団体]

■推進協議会からの受け入れ2回目(1名、5日間)

○学 生 山口県立大学国際文化学科3年(女子)

○期 間 令和3年1月25日(月)～令和1年1月30日(土)

○受入団体 協力団体4団体

■推進協議会からの受け入れ3回目(3名、5日間)

○学 生 ①山口大学農学部3年(女子)

②山口大学理学部2年(男子)

③北九州女子栄養学科2年(女子)

○期 間 令和3年2月15日(月)～令和3年2月20日(土)

○受入団体 協力団体4団体

■一般受け入れ3回目(1名、3日間)

○所 属 高校教諭(男性)

○期 間 令和2年10月8日(月)、9日(火)、11日(木)

○受入団体 協力団体5団体

■その他

今年度はコロナ禍のため県立大学の地域演習が実施されず、授業の中でのZoomでの活動紹介に留まった。

## (5) 学生による動画作成事業

インターンシップのステップアップとして、以前にインターンシップ経験のある学生に声掛けし、登録してもらい市民活動団体紹介及び地域紹介VTR制作を行った。

■以下の団体を取材し、5分程度の構成を考え、編集作業をおこなった。

①親の会カフェ～起立性調節障害の親の会～

②NPO 法人里山ネットワーク

③みやの地域づくり協議会

作成後は、さぼらんてHPの特設ページ内で公開

## (6) ボランティア募集の発信強化

さぼらんてに寄せられる相談のうち10件に1件が「ボランティア活動をしてみたい」というもの。その数が2019年度は、前年度より2倍に増えた。

さらに、さぼらんてのホームページでの検索ワードランキングでボランティアは常に上位に来ている。

①ホームページで市民に発信

トップページに新しい情報を3件ずつ掲載できるように変更した(下画像参照)また、表示画面も関連画像を加えて視覚的にわかりやすく、情報も項目ごとに整理して掲載するようにした。さらに、ホームページに掲載されたボランティア情報を簡単に印刷できるシステムも採用した。

②拠点で市民に発信



ホームページのボランティア情報から印刷し、拠点に掲示し、持ち帰りできるようにした。また、拠点入口の目のつく場所に「ボランティアコーナー」（画像参照）を設置することで、通りすがりの市民へ向けて、ボランティアへの関心を生むきっかけを作った。

さらに、活動インフォメーションの一部にも掲載し、一般市民の参加を促した。

### ③SNS で発信

ホームページに掲載されたボランティア募集情報をさぼらんての SNS（Facebook とボランティア情報に特化した Instagram）でも発信し、ボランティアへの意識がある市民や団体から拡散するように仕掛けた。

## 5 協働促進・ネットワークに関する業務

### (1) さぼカフェ（事前アンケート及びさぼカフェ開催 2 回）

地域や NPO では、事業を支える人手不足が課題となっている。一方、家族の生活サイクルを支えるためフルタイムでは働けないが、特技やスキルを活かしたいと思っている子育てママや、体調と相談しつつ単発・短時間でなら働ける有病者もいる。両者の現状とニーズを知り、マッチングの機会につなげたいという思いから企画した。

#### 【事前アンケート実施】

企画実施の前に、子育て交流施設の協力を得て、子育てママの意識調査を行ったところ、地域からは、広報紙の記事やレイアウトのマンネリ、SNS やホームページでの情報発信の苦手意識、人材育成への課題などがあがっていた。育て中のお母さんへのアンケートでは、地域づくりや NPO への興味は 15.8% にとどまるものの、勤務時間に融通がきけば検討したいとの回答が 4 割近くを占めている。このように地域の情報発信の苦手意識解決のために、子育てママを活用することはコーディネート次第では高相性なのではないかと考える。

#### 【さぼカフェ】

##### 第 1 回『それぞれの「今」を語る』

日 時：2020 年 9 月 17 日（木）10：00～12：00

会 場：さぼらんて会議室

参加人数：12 名

参 加 者：7 団体 6 名、支援者 6 名（2 機関）

内 容：●さぼカフェのテーマ・趣旨説明

●自己紹介（所属団体と名前、ボランティア活動歴など）

●参加者による地域・NPO の人材不足の現状について

●参加者による働き方エピソード 2 件

●事例紹介

●個別ワーク「地元住民の才能や能力を生かすためのアクションプラン」

●発表・●まとめ

##### 第 2 回『地域で叶うワークライフバランスを考える』

日 時：2020 年 11 月 13 日（木）13：00～15：00

会 場：さぼらんて会議室

参加人数：10 名

参 加 者：7 団体 6 名、支援者 2 機関 4 名

- 内 容：●本日の流れ
- 自己紹介
  - 前回の振り返り
  - 前回の深堀り
  - 次の一步に向けて「〇〇やります！」宣言
  - まとめ

上記の内容をまとめたかわら版を発行。

## (2) 阿東地域再生計画の会議内容記録・可視化サポート

「(仮)第二次阿東地域再生計画」は、策定段階から地域住民とのグループワーク等を実施し、課題等を共有しながら取り組み内容を検討することにより、地域における問題意識と課題解決への取り組み意識の向上を図り、持続可能な地域の形成を実現する計画として策定することとなった。

これをうけさばらんでは、地域外の視点を持つ立場から策定会議の一員として会議参加するとともに、会議やワークショップなどで話し合われる内容をグラフィックすることで可視化し、活発な議論の拡散・収束をサポートした。

### ①会議実施日と内容

- 【第1回】令和2年7月28日(火) ※会場+オンライン
  - 第2次阿東地区再生計画策定における概要の確認
  - ワーク
- 【第2回】令和2年8月4日(火) ※オンライン
  - 第2期山口市まち・ひと・しごと創出総合戦略の読み込み
  - ワーク
- 【第3回】令和2年8月26日(水) ※オンライン
  - 会の名称決め→アトリエ(阿東の再生を描く会)
  - ワーク
- 【第4回】令和2年9月9日(水) ※オンライン
  - 第一次再生計画『阿東ふるさとにぎわい計画』について
  - ワーク
- 【第5回】令和2年9月24日(木) ※オンライン
  - 広報について
  - ワーク(高齢)「子ども」「働き盛り」世代ごとの役割や課題について
- 【第6回】令和2年10月9日(金) ※対面
  - 策定のポイント、今後のスケジュール確認
  - 必要なデータや統計につて確認、準備にむけて
- 【第7回】令和2年10月28日(水) ※オンライン
  - データ分析
  - ワーク
- 【第8回】令和2年11月13日(金) ※対面
  - 事業案プレゼン
- 【第9回】令和2年11月25日(水) ※対面
  - 次回「阿東未来会議」打ち合わせ
- 【第10回】令和2年12月11日(金) ※阿東中学校

■阿東未来会議参加

【第11回】令和2年12月30日（水）※オンライン

■組織（地域経営会社等）の運営と代表者について

【第12回】令和3年1月19日（火）

■長門市俵山 株式会社 SD-WORLD 視察

【第13回】令和3年2月10日（水）※講師のみオンライン

■視察報告

■2つ目の拠点について

②振り返り

会のメンバーが、実績と信頼のある地元 NPO（NPO 法人ほほえみの郷トイトイ）や地域づくり協議会職員、自営業の地域住民の他、半数が山口市職員等で構成されており、課題分析に必要な地域住民の声や、各種データや統計など情報の収集、分析に長けている、制度について熟知しているという強みがある。話し合いのベースに常に「誰のため」という投げかけがあり、話し合いの肝がブレることがない。会の中だけの意見に終始しないよう、中学生の意見を聞く「阿東未来会議」やオンライン会議の視聴者を呼びかけるなど、地域住民の声を拾う場も設けた。あと一歩「誰がやる」を話し合い中。

(3) その他地域づくり関連事業

①地域協力事業

地域ワークショップなどへの参加・協力（のべ16回）

日付	内 容	主 催	参加者数
2020/6/7	大内地域コドモジカプロジェクトの協力	茅野神田自治会	1名
2020/6/19 -2021/2/19	阿東地域再生計画会議（13回）	阿東の未来を語る会(アトリエ)	各1名
2020/9/11	大学生が作る宮野地域 CM 打合せ		2名
2020/10/30	小鯖全住民アンケート入力作業	小鯖地域づくり協議会	1名

(4) その他のネットワーク

① 関係各所との連携に向けて、以下のとおり関係会議等に参加。

【市民活動支援県域会議等】

日付	会議名	主 催	場 所	参加者
2020/7/16	県民活動ネットワーク会議	県民活動支援センター	パルトピア山口	1名
2020/7/30	県内支援センター長会議	県民活動支援センター	Zoom	1名
2021/3/2	県民活動ネットワーク会議	県民活動支援センター	Zoom	2名

【審議会等】

日付	会議名	主 催	場 所	参加者
2020/8/24	域外プロボノワーカー受入れ団体審査会	山口県	山口県庁	1名
2020/8/25	山口県県民活動審議会	山口県	山口県庁	1名
2020/12/18	頑張る県民活動団体応援事業補助金審査会	山口県	山口県庁	1名

【その他】

日付	会議名	主催	場所	参加者
2020/11/19	協働の推進ネットワーク会議	山口県・県社協・きらめき財団	周南市	1名

## 6 市民活動団体事務局支援

専属の職員や拠点を持たない団体が活動しやすいように支援。

### (1) 市民活動団体登録制度の運用

○2020年度末 登録団体数：319団体（前年度311団体）

＜NPO法人45（内認定NPO法人4）団体、

その他の法人7団体、任意団体267団体＞

新規登録団体数：13団体

解散団体数：5団体

### (2) 登録団体へのサービス提供

#### ①場の利用による支援

○団体BOX利用

要望のあった団体に、その都度設置した。

利用団体数：20団体

○会議室の提供

利用件数：251件

利用団体数：34団体

○印刷機材の提供

利用件数：93件

利用団体数：28団体

○市民活動団体持ち込みイベントへの提供

利用件数：60件（延べ利用日数75日）

利用団体数：17団体

#### ②事務局機能の代行による支援

郵送物等の受け取り、イベント・講座等の「連絡取次窓口」として、市民活動団体事務局機能を一部代行。イベント・講座等の「連絡取次窓口」利用件数：17件

#### ③広報支援

○「さぼらんての広報紙」発送時の同封サービス

「さぼらんての広報紙」送付時に、登録市民活動団体の情報紙やチラシを同封して送付した。

なお、送付作業への協力を得ることで、協力団体同士の情報交換を併せて実施。

利用団体数：14団体（偶数月発送作業）

○マスコミ等への広報活動の助言

市民活動団体行事等において、随時、マスコミ等への記者配布等の助言を行った。

○ホームページの団体行事カレンダーへの掲載

持ち込まれた、団体のイベントチラシなどの情報は全て、ホームページの団体行事カレンダーに反映した。

#### ④機材貸出による支援

貸出機材件数：146件

□ワイヤレスマイク一式 14件

□マルチプロジェクター 12件

□スクリーン 6件

□パネール 16件

□イゼル 12件

□Wi-Fiルーター 15件

□延長コード 12件

□モニタ 32件

□その他 27件

### (3) コロナ禍におけるオンライン講座・会議等に向けての支援と機材貸出しサポート

市民活動における感染症拡大防止のため、イベントや会議等をオンライン開催に移行する団体への運営サポートのために機材の無料貸し出しを行う。(山口県の頑張る県活動団体応援事業補助金を活用)

#### ① 県内支援者ネットワーク勉強会

オンライン運営マニュアル作成、お試しオンライン会議、運営研修などを通じて、オンライン会議の支援力を高めた。団体からのオンライン会議等の支援は40件以上になる。

#### ② 機材貸し出し

登録団体等には、通常の貸し出し機材に加えオンライン講座等で活用できる機材(以下一覧)を新規に購入。新規購入器材について、さぼらんてHPよりお知らせした。

品名(個数)	品名(個数)
マイクスピーカー(2)	LANケーブル10m(1)
タブレット(2)	LANケーブル5m(1)
タブレット台(2)	HDMIスプリッター(1)
三脚付き広角カメラ(2)	HDMI(2m)(1)
モニター(2)	HDMI(10m)(1)
パーティション(5)	ワイマックス(モバイルWi-Fi)(1)
非接触体温計(3)	ドラム式延長コード(2)

## 7 その他の事業

### (1) 館内募金箱の設置

東日本復興支援のため、さぼらんてでは寄付やカンパを募り、山口市内から東日本復興支援活動をする市民活動団体へと配分しました。

寄付金総額 53,883円

寄付先 ①りす会山口  
②福島～山口いのちの会  
③山口災害救援

上記団体に17,000円ずつの配分

### (2) 不要なマスクの回収

来館者からの問合せがあり、政府から配布されるマスクが不要な方のマスクを回収することとした。

■回収期間：5月末～10月末

■回収総数：約2,200枚 山口市民はじめ全国各地の個人、県内企業より

■マスクが呼び水となった現金寄付：11万1,000円

■配布先団体

①こども明日花プロジェクト(580枚)

②.style(300枚)

③NPO法人あっと※学童(200枚)

④不織布のマスクに関しては熊本の被災地へ(240枚)

※880枚は検品の結果「不備」で配布に至らず

## Ⅱ 運 営

### 1 職員体制

職員の内外研修により市民活動のみならず、地域づくりへの支援力の向上に努めた。今年度は特にコロナ禍による、オンライン会議や講座などの支援力を高めるために、Zoomの研修やKintoneを取り入れるなど対面しなくてもコミュニケーションが進む工夫も行き、withコロナにおける支援力を特に高めた。ローテーション勤務により平日については4～6名、休祭日については2～3名の職員配置を確保し、車の乗り入れ可能な開館1時間前の9時から対応した。

- 事業スタッフ6名（常勤4名非常勤2名）、広報スタッフ2名、学生スタッフ7名（インターンスタッフ含む）
- ボランティアコーディネーションカ3級取得者5名配置  
＜NPO 法人日本ボランティアコーディネーター協会認定＞
- NPO 法人事務力検定初級4名配置

### 2 意見聴取

「さぼらんで」への意見・要望を、下記のとおり随時聴取し、運営の参考とした。

- 市民活動団体来所時及び相談対応時における意見の聞き取り。
- 「さぼらんでだより」同封作業時に協力市民活動団体から聞き取り。
- 講座開催時の参加者アンケートによる把握。
- ええやん新聞における「モニタースタッフへのヒアリング」、「読者アンケート」を実施し、これまで市民活動と関わりのなかった人の意見の聞き取り。
- 団体訪問や取材時における団体運営課題などの聞き取り。
- インターンシップ時にもワークを行い、幅広い世代の人と社会課題意識の掘り下げ。

### 3 定例連絡会等

「さぼらんで」設置者の山口市協働推進課と運営NPO職員と、よりよい市民活動支援に向けて、連絡会を実施。事業実施におけるスムーズな連携、市民活動支援の意義の共有などができた。

【協働推進課情報交換会等】

日付	内 容	担当課	さぼらんで
2020/4/14	年間スケジュールについて	2名	5名
2020/6/9	With コロナ禍における事業の修正スケジュールについて	2名	5名
2020/7/10	山口市の協働推進について	3名	6名
2020/11/20	頑張る補助金推薦について	2名	3名
2021/1/7	年間事業進捗と次年度事業について	2名	5名

### 4 職員研修

中間支援力向上のために、内外多数の講座・研修に参加し、参加後は職員間で内容を共有する時間を



持った。今年度はコロナ影響で殆どがリモートで参加できるもので、「ファンドレイジング日本」「日本ボランティアコーディネーター研究集会」などに参加できた。

## 研修等一覧

### ① 運営支援のための講座・研修等 (38回のべ55名参加)

日時	内容	主催	場所	参加者
2020/6/26	「地域のワガコ化」のための未来推計データ勉強会	株式会社ローカルラボ	オンライン	1名
2020/9/3	人口減少・超高齢社会の「まちなか」の地域づくり運営改革	県民活動支援センター	パルトピア	1名
2020/9/5～ 2020/9/14	FRJ2020 7分科会に参加	FRJ	オンライン	のべ 8名
2020/9/15	「社会を変えるための提案するチカラ」	一般社団法人 SANY	オンライン	4名
2020/9/17	NPO事務局 学びの学校 ⑤税務	県民活動支援センター	オンライン	1名
2020/9/20	助成金の基本を学び、団体で本当に活用するための作法	FRJ	オンライン	1名
2020/9/29	「提案するチカラ」セミナー	一社)SANY	オンライン	4名
2020/10/5	クレーム対応講座	県民活動支援センター	オンライン	4名
2020/10/8	NPO事務局学びの教室(定款編)	県民活動支援センター	オンライン	1名
2020/12/3	Cybozu Days 2020 Osaka	Cybozu	オンライン	1名
2020/12/6	非営利組織の戦略的な財源調達ノウハウ獲得セミナー	山口県	山口市内	1名
2020/12/10	30分で会計 freee がよくわかる！ウェブセミナー	freee	オンライン	2名
2021/1/24	伝わるオンラインプレゼンテーション～デジタル環境のあたらしいあたりまえ～	えんたくんミーティング	オンライン	1名
2021/1/29	全国 NPO 事務支援カンファレンス 全国一斉オンラインセミナー&検定	全国 NPO 事務支援カンファレンス	防府市協働センター	3名
2021/2/13	みんなの助成金セミナー	公財)山口きらめき財団	パルトピア	1名
2021/2/18	PBL 実践報告会「地域を元気に！コロナ禍での学生たちの挑戦」	大学リーグやまぐち	山口県立大学	4名
2021/2/25 ～2/28	市民の参加と協働を進める多様なコーディネーション実践研究集会 2021 11 分科会参加	認定非営利活動法人 JVCA	オンライン	のべ 15 名
2021/3/19	事業評価入門講座	NPO 法人岡山 NPO センター	オンライン	2名

### ② 個別のテーマの研修等(12回のべ17名参加)

日時	内容	主催	場所	参加者
2020/6/15	コミュニティマネジメントカフェ緊急事態宣言明けの「イベント」と「ミーティング」をどうするか	NPO 法人 CR ファクトリー	オンライン	2名
2020/7/2	「オンラインでも会議上手になろう！」	青木将幸ファシリテーター事務所	オンライン	1名
2020/7/27	シングルマザーと若者のファイナンシャル・ヘルスの実態～新型コロナ後の支援のあり方を考える	日本 NPO センター	オンライン	1名

2020/8/4	市民活動団体の財源力を高める！ オンライン戦略セミナー	NPO 法人やまぐち県 民ネット 21	パルトピア	1名
2020/9/13	コロナ禍 時代を生き抜くヒント	一財)セブン-イレブン 記念財団	オンライン	1名
2020/9/27	災害ボランティアセンターコロナウィル ス感染対策検討会	災害復興支援団体 山口災害救援他	オンライン	1名
2020/12/8	しる・つながる・まもる やまぐち防災つ ながりカフェ Vol.1	県民活動支援センタ ー	パルトピア	4名
2020/12/20	多文化共生社会の構築シンポジウム 外国につながる高校生たちの『活躍 する力』を拓く	公益財団法人日立 財団	オンライン	1名
2021/1/16	令和 2 年度多文化共生講座ー「おと なりさんに、こんにちは！」～あなた の隣に住んでいる外国人を知ってい ますか？～	国際交流協会	オンライン	1名
2021/1/23	災害時における外国人対応と地域防 災のこれから	山口県国際交流協 会	オンライン	1名
2021/2/5	農山漁村イノベーションフォーラム	やまぐち 6 次産業化・ 農商工連携推進協 議会	オンライン	1名
2021/2/13	災害時外国人サポーター養成講座	山口県国際交流協 会	オンライン	1名
2021/2/25	外国人住民への情報発信:コロナ禍 で見た現状と課題	外務省・国際移住機 関(IOM)	オンライン	1名

### ③ 視察・見学

日時	内容	主催	場所	参加者
2020/6/26	いちのせき市民活動センターオンライ ン視察	周南市ふるさと振興 財団	オンライン	4名
2020/7/2	オンライン視察②	周南ふるさと財団	オンライン	2名
2020/7/7	オンライン視察 岡山 NPO センター	周南市ふるさと振興 財団	オンライン	4名
2021/1/10	対話型交流クラス「日本語でおしゃべ りしよう♪」	日本語クラブ周南	周南市シビック 交流センター 交流室1	1名
2021/1/21	俵山(株)SD-WORLD 視察	アトリエ	長門市俵山	1名
2021/2/9	地域参加型道徳授業への参加	平川中学校	平川中学校 2 年1, 2組	1名

### ④ 県内支援者ネットワーク自主勉強会

日時	内容	主催	場所	参加者
2020/6/5	勉強会企画の共有	勉強会ネットワーク	オンライン	1名
2020/6/18	団体の Facebook デビューを Zoom で 支援する	勉強会ネットワーク	オンライン	1名
2020/7/31	たね δ カフェ Vol.41	NPO 法人市民プロデ ュース	オンライン	3名
2020/12/28	2020 年振り返り会	勉強会ネットワーク	オンライン	1名
2021/2/4	提案するチカラ」セミナー フォロー勉 強会	一社)SANY	オンライン	2名
2021/2/9	提案するチカラ」セミナー フォロー勉 強会	一社)SANY	オンライン	1名
2021/2/25	ソシオマネジメント勉強会	有志	オンライン	1名